

そうさ 匠瑛議会だより

第62号

2021

令和3年

12月1日発行



2年ぶりに

「匠瑛市中学生模擬議会」開催！



令和3年11月12日撮影

主な内容

9月定例会の概要 委員会の審査 一般質問の概要と質問項目	2ページ
一般質問	3~6ページ
議員研修、インターネット中継	6ページ
討論、議会日誌	7ページ
発議	8ページ
特集「匠瑛市中学生模擬議会」	9ページ
審議結果、次回日程、編集後記	10ページ



議会だより（過去分含む）
の電子版はコチラ

令和2年度匝瑳市一般会計歳入歳出決算認定など議案13件、議員発議案2件を承認・認定・可決

9月定例会

令和3年9月定例会は、9月3日に招集され、9月22日までの会期20日間をもって開かれた。

初日に市長から報告3件と議案11件について、提案理由の説明があった後、議案第11号を先議し、可決した。

9月8日は、議案に対する大綱質疑が行われ、その後、各常任委員会に議案を付託した。

8日、9日、10日、13日には、予算決算、総務、文教福祉の各常任委員会において、付託された議案等の詳細な審査を行った。

16日、17日には、議員7人による市政に対する一般質問を行った。

常任委員会の審査

※議案名等は、10ページの審議結果を参照

予算決算常任委員会

9月8日開催 委員16名出席

9月9日開催 委員15名出席

付託された事件は、議案9件

◆審査の経過及び結果

・議案第1号

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業に関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり承認するものと決した。

・議案第2号

天神山公園法面復旧業務委託に関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり承認するものと決した。

・議案第3号

会計年度任用職員、職員研修、ホームページ、動物適正管理指導事業、紙おむつ支給事業、母子健康相談事業、匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業、サタデースクール事業などに関する質疑があり、賛成多数で原案のとおり認定するものと決した。

・議案第4号

徴収率、資格証明書などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

・議案第5号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

・議案第6号

地域包括支援センター、ふれあいデイサービス事業などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

・議案第7号

病院事業については、経営改善、新型コロナウイルス陽性者の受入などに関する質疑があり、介護老人保健施設事業については、経営状況、利用増進などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

・議案第8号

消防施設解体等工事費、防犯カメラ設置工事費、家畜疾病経営維持資金利子補給金、側溝清掃業務委託料などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第9号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

総務常任委員会

9月10日開催 委員6名出席

付託された事件は、議案1件、陳情2件

◆審査の経過及び結果

・議案第10号

個人番号カード再発行時の手続きなどに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・陳情第1号

日本の防衛上、必要であるなどの意見があり、賛成なしで不採択とすべきものと決した。

・陳情第2号

公的判断は非常に困難であるなどの意見があり、賛成なしで不採択とすべきものと決した。

文教福祉常任委員会

9月13日開催 委員5名出席

「匝瑳市の新型コロナウイルス感染症対応状況等について」調査を行った。コロナワクチンの供給状況や市内小中学校における新たなコロナ対策などに関する質疑があり、執行部から詳細な説明があった。

産業建設常任委員会

今回、付託事件なし。

9月定例会

市政に関する「一般質問」

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたずねるものです。

9月定例会では7名の議員が

質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

「一般質問」の質問項目

宮内 康幸 議員

● 新型コロナウイルス感染症対策について

● 登下校時の児童の安全確保について

● 市財政について

● 防災・減災対策について

● 散歩のまちづくりについて

● 成人式について

● 都祭 広一 議員

● 学校給食への有機食材導入について

● コロナワクチン接種について

● 陽性者及び感染者の在宅療養支援について

● 駅前への放置自転車対策について

● 犯罪被害者支援制度について

● 高齢者の相続対策について

● 林 明敏 議員

● 成田空港について

● 道路整備について

● バラリンピックについて

● 武田 光由 議員

● 新型コロナウイルスについて

● 財源確保について

● 地球温暖化対策について

● 山崎 等 議員

● 国土強靱化について

● 消防団組織について

● 消防団運用について

● 団員の加入問題について

● 市・消防防災班強靱化について

● 道路冠水対応について

● 田村 明美 議員

● 児童生徒のコロナ感染防止策について

● 通学路等の安全対策について

● 市営パークゴルフ場整備について

● 交通弱者支援施策について

● 雨災害の防止策について

● 稲作農業支援策について

● 市民病院について

● 荻谷 進一 議員

● 本年度の財政について

● 次年度の財政について

● 市民病院について

● ワクチン接種について

● 広域ごみ処理施設について

● 公共交通問題について

ワクチン接種

問 平日の時間帯ではワクチン接種の予約が困難という意見もあるが、日曜日の予約受付等検討いただけないか。

答 「健康管理課長」お勤めされている方も予約申込みができるよう日曜日の予約を行う予定。

財政

問 厳しい財政状況の中、第三者による事務事業評価が必要な時期ではないか。

答 「財政課長」令和4年度の予算編成に当たっては、厳しい財政状況を各課が認識し、全ての事業を対象として事務事業評価シートの作成を依頼し現在評価を行っている。さらに庁内組織において精査検討を加える。

防災

問 税外収入の確保について、ドームの修繕に合わせてネーミングライツの導入も具体的に進めてみてはどうか。

答 「財政課長」県内各自治体の状況について、引き続き調査研究する。

問 自主避難所の開設について、市の北部からは市民ふれあいセンターまでは距離もあり避難も大変であると



宮内康幸議員
(創世会)

という声もある。市北部の開設もお願いしたい。

答 「総務課長」警戒レベル等に応じた対象区域の状況を踏まえ、危険度が増す前に適切なタイミングで開設するよう努めていく。

成人式について

問 令和4年4月の民法改正に伴う成年年齢引き下げに対する成人式の対象年齢は。

答 「教育長」令和4年度以降の成人式については、対象年齢は20歳、式典は毎年1月に開催する。

問 今年度開催される成人式では、ワクチン接種が進む中、感染状況により開催できるのか。

答 「生涯学習課長」爆発的な感染者の発生や緊急事態宣言の発出など、今後の感染状況に注視していきたい。

問 どのような感染対策をとるのか。

答 「生涯学習課長」八日市場ドームを会場として密を避けソーシャルディスタンスの確保、体温測定、手指消毒、マスクの着用を徹底するなど基本的な感染対策と合わせ、式典終了後の会食自粛の依頼の他、神輿セレモニーは中止する方向。

問 成人者がより安心して参加できるように抗原検査キットなど、事前配布してお互いに安心して参加できる状況をつくっていただきたい。

答 「生涯学習課長」国でも若者へのワクチン接種を進めており、今後のワクチン接種状況など注視していきたい。

学校給食



都祭広一議員
(創 真の会)

問 有機農業を推進している当市において学校給食へ有機米や有機農産物を導入することは、成長期の児童生徒にとつての教育的効果や、食物アレルギー対策、健康志向を持つ家庭や生産者の移住定住につながる施策であり、積極的に進めるべきではないか。

答 「教育長」高額な有機農産物の随時活用は、大変難しい状況と考える。

問 「学校教育課長」有機農産物の活用は、食の安全、地元農業や農産物への関心を高め、地産地消の推進につながるものと考えられるが、買い付け基準の判断や価格差への課題が予想される。

答 「産業振興課長」内容を精査して検討したい。

問 実現に向けて、農林水産省の進める令和4年度みどりの食料システム戦略における事業費補助金の活用を求める。

答 「産業振興課長」内容を精査して検討したい。

武漢ウイルス

問 PCR検査助成について期間延長を求める。また、企業への検査助成を案内できないか。

答 「健康管理課長」不安を感じ、自主的にPCR検査をされる方のために10月以降も助成を継続する方向で調整している。また、あくまでも個人に対する

助成だが、幅広く広報していく。

問 陽性者及び感染者の在宅療養支援について、支援センターを立ち上げるなど積極的に取り組むべきではないか。

答 「健康管理課長」現在、県との協議を進めており、今後の感染状況を見極めた上で、検討していく。

駅前放置自転車対策

問 JR八日市場駅前の放置自転車について、通行の妨げや事故の誘発など、市民から不安が寄せられている。常習者への対応や撤去など迅速な措置を求める。

答 「市長」警察など関係機関と連携し、対策の強化に取り組む。

問 「都市整備課長」長期間放置されている自転車から早急に処分等の対応を行う。

答 「都市整備課長」条例制定により、市独自の処分が可能になるが保管場所の設置や処分に係る手続きなどの課題もある。先進事例を参考に検討する。また、今後、駐輪場事業者とも対応を協議し、連携して改善に努める。

犯罪被害者等支援

問 犯罪被害者等支援条例を策定し、被害者等への充実した支援体制の構築を求める。

答 「市長」千葉県においても本年4月1日に条例が施行された。今後、県や関係機関との役割分担を考慮し、先進事例などの調査研究をしていく。

企画

問 銚子連絡道路は、昭和63年から促進運動が行われていたと思うが、またこのような進捗状況である。旭中央病院に向かう救急車が利用する、とても有意義な道路であるため、国、県に強く働きかけていただきたい。

答 「企画課長」 銚子市、旭市、匝瑳市等で構成する期成同盟会において、早期完成を国等に要望している。

問 道路の陥没やごみの不法投棄等の市民からの情報を共有するため、ICTを活用したインフラ管理システムを導入してはどうか。

答 「市長」 情報提供に係る取扱等で調整事項も想定されるため、先進事例を調査研究していく。

問 のさか望洋荘跡地利用事業の進捗状況を伺う。また、事業実施に市として強力なサポートをお願いする。

答 「企画課長」 公募の応募者からの提案内容を審査した結果、(株)富士テクニカルコーポレーションを優先交渉権者に選定した。現在、事業化に向けて調整が進められている。要領上の手続きでは、今後、同者が地域の皆様に利活用の内容を説明した後、賃貸借契約を締結し、契約後2年以内にすべての事業を実施することとしている。

総務

問 急速に行政のデジタル化の動きが進んでいるが、その進捗状況について伺う。

答 「市長」 窓口手続きのデジタル化等については、国の自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき検討を進めているところである。

福祉・医療

問 自宅待機している新型コロナウイルス感染者への安全確認等は、今後行つか。

答 「健康管理課長」 現在、市が実施できる支援策について県と協議しているところである。

問 医療的ケア児支援法に基づく対応を伺う。

答 「市長」 吉田保育所において医療的ケア児保育を実施し、また、病児・病後児保育については、九十九里ホームが開設予定の施設内に保育スペースを確保する方向で調整を進めている。

財政

問 財政力指数を上昇させるためには、工場等の誘致と人口増加が必要だと財政課長が答弁したが、その努力をしているのか。

産業

答 「産業振興課長」 工場等の誘致については、匝瑳市企業誘致及び雇用促進に関する条例に基づき、取り組んでいる。

問 農業用廃プラスチックの処理料金が高騰しているが、対応策を伺う。

答 「産業振興課長」 処理単価等について、匝瑳市農業用廃プラスチック対策協議会で検討している。

健康



武田光由議員 (公明党)

問 新型コロナウイルス感染に伴う自宅療養者等に対して、海浜地域の保健所ではどのような支援をしているのか。

答 「健康管理課長」 家庭での生活物資、食料品の配達、酸素濃度を測るパルスオキシメーターの貸出、毎日の健康観察を行っている。

問 必要とされる支援について、市独自で全部書き出して、早急に対策会議で決めていただきたいかがか。

答 「市長」 でき得る支援について、早急に検討していきたい。

行財政改革

問 神奈川県座間市で実施している広告入りフロアマットの採用により、本市もコスト削減できると考えるがいかがか。

答 「市長」 歳入確保及び歳出削減の取組を進めていく中で、今後、先進事例を参考に調査研究していく。

問 ネーミングライツ導入に向け、早い時期に心ある企業や知り合いの企業等に当たってみてはいかがか。

答 「財政課長」 時期は明言できないが、早い段階で取り組んでいきたい。

問 企業版ふるさと納税の本市の実績について伺う。

答 「市長」 令和2年度に市川市の企業から子育てに関する事業に対してご寄付をいただき、屈折検査機器を購入し、本年度から活用している。

問 本市出身の企業家や実業家に企業版ふるさと納税を公募するため、ダイレクトメールすることはできないか。

答 「企画課長」 企業版ふるさと納税の制度上、可能かどうか調査研究していきたい。

環境

問 第3次匝瑳市地球温暖化防止実行計画の策定に当たり、SDGsとの関連付けは行うのか。

答 「環境生活課長」 第2次計画の継続すべき点と改善すべき点を検証した上で、第3次計画で目標を実現するための具体的な取組を検討していきたい。

問 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを表明する自治体が増えてきている。本市も表明すべきと考え

答 「市長」 ゼロカーボンシティへの表明を含め、二酸化炭素排出削減を推進するための先進事例や取組等について検討していきたい。

問 「市長」 ゼロカーボンシティへの表明を含め、二酸化炭素排出削減を推進するための先進事例や取組等について検討していきたい。



林明敏議員 (市民クラブ)

防災

問 国土強靱化のための3か年緊急対策における市消防団の取組結果を伺う。

答 「市長」 国庫補助制度が創設されたが、補助対象に示された資機材については、消防車両の更新と合わせて計画的に整備を進めている。本市の消防団活動に有用な資機材整備を対象とする補助制度が創設された場合は、積極的に活用していく。



方向で検討されている。県大会及び海匝支部大会の対応を踏まえ、今後、市消防団幹部役員会において、協議されるものと考えている。

問

市総務課消防防災班の強靱化に向け、災害時の防災業務はマンパワーであり、日常、市内全域を日夜対応していた消防組合退職者を総務課消防防災班に任用し、防災対応の強靱化を提案する。

答

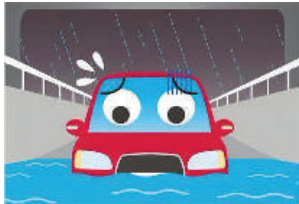
「総務課長」 他市町村の例を参考にし、任用形態のあり方なども含めて調査研究をする。

問

道路冠水対応について、今年も豪雨による車両の水没や冠水が市内で発生した。対応処置として、水深計などの表示物を設置すべきではないか。

答

「市長」 通行車両等への注意喚起を行うとともに、安全な通行を確保できるよう、案内看板及び水深標示について設置を検討する。



山崎 等議員
(創世会)

問 他県では操法大会に出場しない団が増えている。大会運営に当たり参加の仕方を考慮し弾力的な運用を検討してはどうか。

答 「市長」 主催者である公益財団法人日本消防協会を中心に、操法の実技内容や大会の運営について見直す

市民病院



田村明美議員
(日本共産党)

問 匠瑳市民病院の施設の建て替えを求め、市長の考えは。

答

「市長」 これまで、市民病院の経営健全化を進めた上で再度検討したいと、新改革プランの最終年である令和2年度病院事業会計の決算状況を判断材料に、できるだけ早い時期に決断したいと答弁してきた。

平成29年11月(4年前)に新改革プラン・建替整備検討委員会の答申を受けてからこの間、市民病院は、職員ひとりひとりが強い使命感を持って職務の遂行にあたるとともに、一丸となつて経営健全化に取り組んできた。努力の結果として改善の兆しが見えてきたところで、新型コロナウイルス感染症拡大があり、残念ながら健全化には至らなかった。

しかし、市民病院は、地域の中核病院の役割を担い、コロナ禍にあつて発熱外来診療やPCR検査の実施、コロナ陽性患者の入院受入れ、ワクチン接種の中心的な役割等を果たしている。その中で、市民の皆様からの市民病院に寄せる期待の大きさを改めて実感した。

また、施設設備の老朽化が進み、雨漏り等で診療にも支障を来し、患者さんに負担を掛けている光景も見ている

ことから、熟慮を重ねた結果、建設に取り組むことを決断した。病院事業管理者にその旨を伝え、病院事務局長、関係課長に対し、建設に向けた検討を進めるよう指示をした。

公共交通

問

地域にとって望ましい公共交通網のあり方について、民間と行政が一緒に検討し、マスタープランを策定、事業を実施していく「匠瑳市地域公共交通活性化協議会」が昨年5月に設置されたが、協議はどこまで進んでいるか。また、市の施策方針、計画を伺う。

答

「環境生活課長」 本年3月、活性化再生法に定めた法定計画である、匠瑳市地域公共交通計画を策定した。市内循環バス再編の協議を行う中で、市内循環バス、デマンド型交通、地域交通(タクシー)利用料助成事業を合わせた公共交通体系を検討することになった。

具体的な事業計画案へのパブリックコメントを実施した上で、本年度内に計画を策定する予定である。



病院問題

問 市長に伺うが、令和2年度の病院全体の赤字は幾らか。

答 「市長」・・・（答弁なし）

問 市長は、病院の建て替えについて検討を指示したと先ほど言っていたが、我々議員、誰も知らなかった。市長の答弁では、ある程度の一定の判断を持って、議会に相談した上で判断すると言ったと思っていた。勝手に自分の数字の判断だけで病院建替を判断したということなのか。

答 「市長」市民のもろもろの期待感、病院の働き方、老朽化等も含めて建て替える時期だというように判断して指示をした。

問 議会に何で相談しなかったのか。議会は関係ないと言っているのか。

答 「市長」議会に相談をしなかったというよりも議員さん方に相談しなかったというのに対しては、拙速な意味もあるが、前々から決算状況を見て、なるべく早く判断したいと説明していた。拙速であったと言われるなら、私も反省する。

問 私は今の病院の状況、またコロナの問題も解決しない段階で、建て直すことは、断固反対する。そういう時期ではないと思う。

環境衛生

問 中継施設の解体に対する補助金が、銚子市なら単独で使えるという話だが、なぜ銚子市だけ使えるのか。匝瑳市は使えないのか。

答 「市長」この件に関しては、組合の全協で・・・

問 銚子市は今まで計画ではやらないと、1年間猶予期間を持って検討した後結論を出すと言っていた。3月の段階でその話はなかったが、いきなり循環型交付金の内容が変わったという事は、おかしくないか。

答 市長は広域議会で副管理者をやっているが、全部銚子市で決められて、時間がなくなってきたからこれで了解ください。恐らくそんな状態だと思いがいかかがある。

問 「市長」そういう場面も幾つかあったのは、私も記憶している。

答 全協の時に荻谷議員から、きちんと計画の変更を行って、テーブルに乗せるようにという発言を受け、組合にとって一番有利になるような形で進めようということになった。

問 中継施設の事業については、明快で、クリーンで透明性を持ってやっていただきたい。



荻谷進一議員
(二十一世紀の会)

議員研修

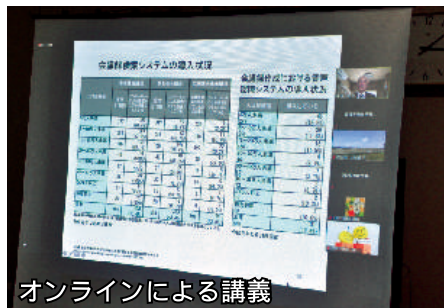
(ぎいんけんしゅう)

10月26日(火)

千葉県北総地区市議会正副議長会主催の議員研修会が、Web会議サービス「ZOOM」を使用したオンラインにより開催されました。講師に廣川聡美氏を招き、「議会デジタル化の意義と展望」をテーマに講義がありました。各議員は、議会棟内の議員控室や自宅等で受講しました。

10月28日(木)

議会改革等特別委員会では、市民に開かれた議会を目指し、議員改革等に関すること、また議員として人格と倫理の向上に努めるための調査・研究を行っています。その一環として、『「住民自治の根幹」としての議会の作動〜議会改革の到達点〜』について、大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏を講師に招き、講演を受けました。



▲講演する江藤俊昭教授



講演を受講している議員

匝瑳市議会インターネット中継

をぜひ、ご利用ください!

匝瑳市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。市議会を傍聴に來られない方などは、ぜひご覧ください。



討 論

議案等に対する討論は次のとおりです。

- 議案第3号 反対の立場 1件
- 賛成の立場 1件
- 陳情第1号 賛成の立場 1件
- 陳情第2号 賛成の立場 1件
- 陳情第3号 賛成の立場 1件

議案第3号に対する討論(要旨)は、次のとおりです。

反対討論

令和2年度一般会計決算額は、歳入232億9、406万円、歳出221億3、187万4千円、実質収支は9億6、377万3千円の黒字となった。一般会計関連の基金残高は約50億5千万円である。

歳入歳出ともに約65億円の増となった理由は、広域ごみ処理施設整備事業の本市負担額29億687万円について、国の震災復興特別交付税約21億6、076万円と、合併特例債6億9、500万円の起債を行なったこと、コロナ対策関連の国庫支出金約44億5千万円(コロナ対応地方創生臨時交付金7億5、500万円、特別定額給付金事業35億8千万円、子育て世帯と一人親世帯への臨時特別給付金事業9、500万円等)があつたことによる。

自主財源のうち、市税収入総額は約39億847万円、収納率は滞納分を含め92・3%で前年度より0・4%上昇し、収入未済は約3億300万円で前年度より3%減少、不納欠損処理は約2、486万円で前年度より28・5%減少した。新型コロナウイルス感染症が社会全体に大きなマイナス影響をもたらした中でありながら、市民の方々は、納税に努力された。そこで、歳出のあり方が、市民の期待に応えられたのか検証が必要である。

1年間の出生数155人、死去588人、転入より転出が107人多く、市の人口減少が進んでいる。市内産業の維持継続が危惧される。子育てしやすいまちづくり、市の基幹産業である農業継続のための施策、新規就農者への支援策等、市独自の積極的な施策展開が必要ではないか。

コロナ禍、医療、介護、保育等の現場は、行政からの支援を強く求めているが、国県の施策のほかは、介護事業所に一律10万円の支援金支給、備蓄マスクの配給、寄付されたマスクや消毒液の配付であった。コロナ感染の脅威を強く感じていた時期に、安全安心に向けた情報発信、高齢者等への安否確認や働きかけ、医療介護保育等の職場への支援など、市行政の取り組みがもっとほしかった。

国のコロナ対応地方創生臨時交付金は、主に小中学生の1人1台タブレット整備事業、地域応援クーポン券発行事業に使われたが、

医療介護保育等の事業所や従事者に対する市独自の支援にも使われるべきだった。

3市共同の一般廃棄物処理施設と最終処分場整備費の本市負担は約29億円、今後、中継施設・付帯関連整備の負担も見込まれる。ごみ処理の広域化は、費用負担少なく合理的な事業が目的とされたが、市にも市民にも重い負担が懸念される。

賛成討論

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策に係る横断的な取組や広域ごみ処理施設整備事業等により、歳入総額が前年度比で39・2%増の232億9、406万円、歳出総額では40・6%増の221億3、187万4千円と、合併以来最大規模の決算額となった。

しかしながら、実質収入額では9億6、377万3千円の黒字を堅持し、また、実質公債費比率、将来負担比率など、財政の健全化を客観的に不健全化判断比率でも、国の基準を下回るなど堅実な財政運営がなされたものと評価する。

歳入では、自主財源として市税の徴収率が92・3%と、前年度に比べ0・4ポイント上昇したが、市税収入は前年度より4、187万5千円減少している。執行部においては、第2次匠瑤市財政健全化計画に位置づけられた市税収入確保のための様々な施策を講じながら、なお一層、財源確保に取り組みされるよう要望する。

また、歳出では、東総地区にお

ける広域ごみ処理施設が完成し、本年4月から供用開始された。広域事業としてのメリットが最大限に発揮され、市民サービスの向上となるよう期待したい。

このほか、長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、市独自の支援策についても間断なく実施されてきたものと評価する。

教育分野においては、GIGAスクール構想に基づく小・中学校への1人1台パソコンが整備され、教育環境の充実が図られたところである。

また、保健分野では、産後の母親に対する心理的、身体的な支援等を行う産後ケア事業が創設されるところに、防災分野では、災害

時における情報伝達手段の確保として小学校の体育館等に公衆無線LANの環境整備が行われるなど、太田市長が市政運営に当たり掲げた「一つ上のまちづくり」が着実に進められている。

本定例会では、本市の財政状況と今後の対応等について、執行部からの詳細な説明があり、太田市長からは、財政健全化に向けて全庁体制の下、スクラップアンドビルドを徹底し、なお一層歳入の確保と歳出の削減に取り組むとの決意が表明された。今後も市財政健全化計画を推進され、将来にわたる持続可能な財政運営の転換に向けて、最大限の努力を払われるようお願いするものである。

令和3年(2021) 8月▶10月 議会日誌

- 8月 3日 八戸水道企業団議会令和3年8月定例会
- 18日 議会報編集委員会
- 26日 令和3年第2回九十九里地域水道企業団理事会
- 31日 議会運営委員会
- 9月 3日 9月定例会開会、本会議【議案上程】
- 8日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
- 9日 予算決算常任委員会
- 10日 総務常任委員会
- 13日 文教福祉常任委員会
- 16日 本会議【一般質問】、全員協議会
- 17日 本会議【一般質問】
- 22日 本会議【採決】、全員協議会、9月定例会閉会
- 10月 11日 東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 13日 議会報編集委員会
- 15日 東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会
- ” 東総地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会
- 18日 東総衛生組合議会10月定例会
- 25日 東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会
- 26日 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 28日 議会改革等特別委員会議員研修会

※以上主なもの

議員から提出され可決した発議

9月定例会で可決した発議は、次のとおりです。

意見書については、衆参両院議長、内閣総理大臣及び関係大臣等へ送付しました。

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書について
- 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書について

決議した意見書は次のとおりです。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費などを将来に向け増嵩する財政需要

に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって

確実に終了すること。

- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

7月中旬以降、感染状況が増加傾向に転じ、感染力の強いデルタ株への置き換わりも確認されるなど、第5波では全国各地で新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新しました。

感染の急拡大に伴い医療体制が危機的な状況となる中、自宅療養者の症状が急激に悪化して救急搬送を要請しても入院先がなかなか決まらないなどの報道を目にするたびに、強い不安を感じた国民も多く、今後、再び

感染が拡大する局面も見据え、対応策を図ることが急務であります。

よって、本市議会は国及び千葉県において、市民の健康と命を守るとともに、不安を解消するため、早急に感染拡大の防止策と合わせ、検査体制や医療体制をさらに強化し、市民への影響を最小限に抑えるよう、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要請する。

記

- 1 PCR検査と抗原検査を適切に組み合わせ、感染拡大局面においても各地域において必要な検査需要に的確に対応できる体制を確保すること。

- 2 相談対応、受診調整、検査の実施、入院・宿泊療養・自宅療養の調整、積極的疫学調査、健康観察等、最大需要想定に基づき業務に必要な人員数の確保など、保健所機能をさらに推進すること。

- 3 医療機関における人、施設、設備、備品の不足など医療提供体制の逼迫を抑え、総合的な医療体制の強化と病床数の確保に努めること。

- 4 健康観察、状態の評価、必要な看護・医療的ケアの提供など、宿泊療養施設の拡充や一時的な酸素投与の処置などを行う酸素ステーションを各地域に開設すること。
- 5 自宅療養者の外来診療や往

診を行う医療機関のさらなる確保と健康観察方法の見直しやパルスオキシメーターの確保など、自宅療養者に対するフォローアップの強化を図ること。

- 6 保健所からの必要な情報提供と、新型コロナウイルス感染症に係る関係機関での個人情報や円滑な共有を図るため、個人情報保護法の取扱いについて規制緩和を図ること。

- 7 円滑なワクチン接種を促進するため、引き続き自治体及び医療関係団体と連携した接種体制の整備と、対象人口に行き渡る安定したワクチン供給に努めること。

- 8 軽症者向け経口薬の開発支援や軽症患者に使用できる「抗体カクテル療法」について、適正に使用するためのルールづくりを早期に構築すること。

- 9 地方公共団体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への支援及び財政支援を引き続き講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



特集

11月12日(金)
議場において

「匠瑳市中学生模擬議会」が開かれました

この模擬議会は、中学生社会科（公民）の「地方政治と自治」について、体験学習を通して学び、市議会の果たす役割についての認識を深めるものです。

当日は、生徒33人が参加。18人（八一中6人、八二中6人、野栄中6人）が模擬議員を務め、そのうち6人が、まちづくりへの提案や提言を行いました。

模擬議員の質問と、太田市長をはじめとする執行部の答弁を要約して紹介します。



議長を務めた
かせ ひゆう
加瀬 妃悠さん(野栄中)



副議長を務めた
いけしま ひなた
池島 暖大さん(八一中)



いしはら わか
最後に謝辞を行った 石原 羽佳さん(八二中)

1



えばと まぎ
江波戸 槇さん
(八一中)

問 植木日本一と言われる、わが匠瑳市の植木業の現状と未来像を伺います。

答 本市における植木の栽培面積や生産量は、全国トップクラスにあるとともに、伝統的な造形技術で手掛けた植木は、国内外で高い評価を得ています。さらなる生産拡大や新たな品種の生産等の積極的な活動を通じて、若い世代に引き継がれることを期待しています。

2



やまくち はづき
山口 葉月さん
(野栄中)

問 市の公共交通の充実のため、デマンドタクシーの採用を提案します。

答 現在、市内循環バスの見直しとタクシーの利用助成に加え、デマンド型交通（利用者の要求に応じてバスやタクシー等を運行すること、利用者の予約に応じて時刻やルートを変え運行する公共交通サービス）についての検討を行っています。

3



こしかわ かりん
越川 花梨さん
(八二中)

問 地球温暖化防止の取組として、①市有地への太陽光パネル設置や②ボランティア活動等による緑化推進を提案します。

答 ①学校等の公共施設への太陽光発電設備の設置を進めており、当面は、未設置の公共施設への設置を優先していきます。②市民が自主的に行う様々な活動への支援制度を活用いただき、身近なところからの実践をお願いします。

4



すのうち こうだい
須之内 煌大さん
(八一中)

問 匠瑳市の魅力をPRするため、「ふれあいパーク」でのイベントを我々中学生が企画・実施することを提案します。

答 中学生リポーター、市農産物の料理レシピの配布、ポスターの掲示といった貴重な提案については、今後、施設の運営や各イベントに携わる、ふれあいパーク八日市場有限会社や八日市場ふるさと交流協会と協議していきます。

5



さいとう ゆきさん
齊藤 ゆきさん
(八二中)

問 不登校の問題について正しく理解するため、小学4～5年生頃の道徳の授業に取り入れることを提案します。

答 道徳教育の充実、並びに多様な体験活動を通して、相手の立場に立って考えたり、気持ちを汲み取ったりすること、友達への声かけに温かい言葉を使うことなどについて、日常生活で実践できるよう様々な工夫をしながら取り組んでいます。

6



あさか れみ
浅香 礼美さん
(野栄中)

問 農地の有効活用方法として、低価格での農地貸付、高齢者施設の建設、太陽光発電の設置などを提案します。

答 農地は、「食」を支える重要な役割を担っています。このため、優良な農地を将来にわたって守っていくことと合わせて、今後、農業者や関係団体等とも十分な議論と検討を行っていく必要があると考えています。

令和3年(2021年)9月定例会の審議結果

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	宮内康幸	都祭広一	増田正義	榎日出男	平山政利	林明敏	山崎等	行木光一	武田光由	小川博之	石田加代	浅野勝義	栗田剛一	佐藤悟	荻谷進一	田村明美	石田勝一	
1	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度匠瑛市一般会計補正予算(第5号)について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
2	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度匠瑛市一般会計補正予算(第6号)について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
3	令和2年度匠瑛市一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議
4	令和2年度匠瑛市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
5	令和2年度匠瑛市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
6	令和2年度匠瑛市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
7	令和2年度匠瑛市病院事業決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
8	令和3年度匠瑛市一般会計補正予算(第7号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
9	令和3年度匠瑛市介護保険特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
10	匠瑛市使用料、手数料、占用料等条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
11	匠瑛市立小中学校12校校務用パソコンの取得について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議
12	令和3年度匠瑛市一般会計補正予算(第8号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
13	令和3年度匠瑛市病院事業会計補正予算(第3号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳 情																					
1	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情書		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	議
2	政府に「再審法改正」を求める陳情書		不採択	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議
発 議 案																					
1	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議
2	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

編集後記

本格的な冬を迎え、寒さが身に染みる季節となりました。昔から「冷えは万病のもと」といわれています。また、新型コロナウイルスの感染再拡大による第6波の到来やインフルエンザの流行も懸念されていますので、市民の皆様におかれましては、お体を冷やさないよう温かくして、日々お過ごしください。

これから迎える年末年始は、空き巣、ひったくり、車上荒らしなどの犯罪が普段よりも多く発生しています。「自分だけは大丈夫」と油断せず、しっかりと防犯対策をしましょう。また、交通量の増加に伴い、交通事故も多くなっていますので、日ごろ



から安全運転を心掛けましょう。さて、今号は2年ぶりに開催された「匠瑛市中学生模擬議会」を特集し、匠瑛市の将来を担う中学生議員からのまちづくりへの提案や提言を掲載しましたのでご覧ください。

議会活動をわかりやすく伝えられる誌面づくりに努めてまいります。

委員長 平山 政利

匠瑛議会だより編集委員会

委員長 平山 政利
副委員長 宮内 康幸
委員 山崎 等
委員 田村 明美
委員 武田 光由
委員 都祭 広一
委員 石田 勝一

12月定例会の予定

(12月3日~12月20日 会期18日間)

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		議会運営委員会			開会	
5	6	7	8	9	10	11
	質疑調整のため休会	質疑調整のため休会	大綱質疑予算決算常任委員会	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	産業建設常任委員会	質問調整のため休会	一般質問		総合調整のため休会	
19	20	21	22	23	24	25
	閉会					

※日程は変更となる場合があります。日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479 (73) 0099